

仮番号「書10—322」

拝啓 初冬近くの山頂に雪の積む様な
気候になりました皆様お変わりもあり
ませんか御伺ひ申し上げます

先頃お願い申上げました先生のお作
拝借の件に就きまして愈来る二十九日

より三日間伊那町にて十二月二日より三日間

赤穂にて展覧会を開くことになり

ました出品者は当郡内のものにて

教員其他十三名の素人であります

参考品として当郡出身の洋画家

作品の陳列。当郡に係のある

方々にて特志の方の作品出陳と

申す様なわけであります。私達の

団体には経費がないので当郡出身

の方々からは郷土のためにお寄附を

願ひ講演会講習会の資金に

あてる考へで居ます其の他は土地に

ある旧作の発表を願ひしました。

先生の分はお寄附とは申し兼ね

ますお援助下さればこんな幸の

ことはありませんがお作だけは是非

見させて戴きたいのでお無礼な言

分ではありますが一時お貸し下され

たくお願い申し上げます

便箋

画題価格等お知らせ下さい

作品の裏打ちは不味いかも知れ

ませんが当地の職人にやらせます

甚だお手数乍らお送り下され

たくお願い申し上げます

失礼のお願い重々おゆるし

下されたくお願い申し上げます

十一月十五日 伊藤眞之助


石井先生

〔受信者〕 東京府板橋町／中丸二六六／石井鶴三様

〔発信者〕 長野県上伊那郡伊那町山寺／伊藤眞之助

〔日付け〕 十一月十五日

〔消印〕 □□□□／□・11・16／后3—6


 東京府板橋町
 中丸 二六六
 石井鶴三 様

長野縣上伊那郡伊那町山寺
 育子 伊藤貞之助

拝啓 初冬近くの山頂に雪の積る様所
 氣候に成りました皆様の変わりもあり
 ませんかお伺ひ申上げます
 先頃お願ひ申上げました先生のお作
 拝借の件に就きまして 念々来る廿九日
 より三日間伊那町にて三日間
 赤穂に「展覧會」を開くことになり
 ました出品者は当郡内のものにて
 教員其他十三名の素人でありませ
 参考品として当郡出身の洋画家
 作品の陳列。当郡に關係のある
 方々にて特志の方の作品出陳と
 申す様なわけであります。私達も
 關係に經費がないので当郡出身

の才をからけ 俳土のために お寄附を
願ひ 講演會 講習會の 次員金に
あてる考へて 居ます 其の他は 土地に
ある 旧作の 巻表を 願ひ 承りました。
先生の 分は お寄附とは 申し兼ね
ます お 援助 下されば こん存 幸の
ことは ありませんか お作だけ 是非

見させて 戴きたいので お無禮な言
分では ありませんが 一時 お貸し 下され
度く お願ひ 申 上げます
画題 價格等 お知らせ 下さい
作品の 裏打ちは 不味いかも 知れ
ませんが 当地の 職人 に やらせ ます

甚だ お手数 乍ら お送り 下され
度く お願ひ 申 上げます
失礼の お願ひ 重々 お申し
下され 度く お願ひ 申 上げます

十一月十五日

伊藤 眞之助

石井 先生

仮番号「書10―238」

拝啓 本日はお書面有難く拝見いたしました
お多忙中お迷惑をお掛けして誠に相済
みませんでした厚くお礼申し上げます
お内室様お病気の由冬寒の期一層の
お養成の程お祈り申し上げます降つて
原先生も幸当年は割合に達者
で居られます他事乍らお安心下さい
展覧会の儀は誠に盛大に出来ました
嬉しくありました開期中福田久道
先生に一夕のお講話を願ひ会員の
作品に就いてはふとしたお縁からして
太平洋の松村巽先生、水彩画会の
望月省三先生に批評お指導を
お願ひいたしました。
当地方は当年は大変に暖で華氏の
四十度位であります雪も昨日二寸程
降っただけで甚だ道もよく外の仕
事には以つて来いの楽な年であ
りました
年末お多忙の節お養生專一に
なされる様お願ひ申し上げます
右お礼迄で 草々

昭和参年拾二月二十六日

便箋

石井先生

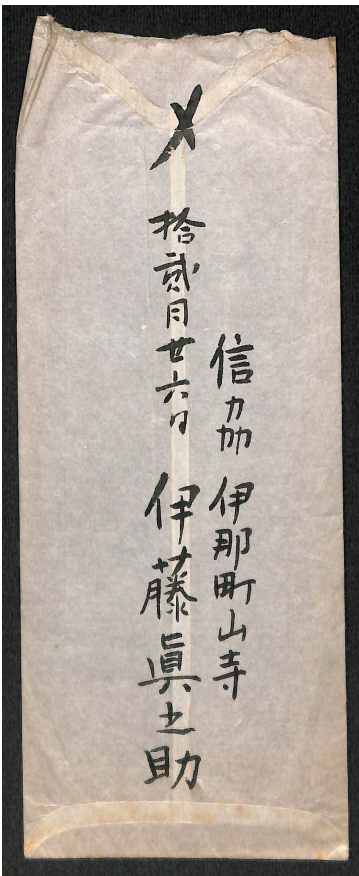
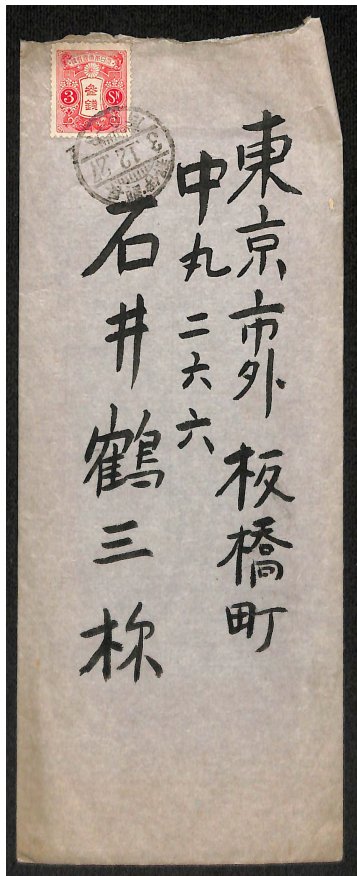
伊藤眞之助

〔受信者〕 東京市外板橋町／中丸二六六／石井鶴三様

〔発信者〕 信州伊那町山寺／伊藤眞之助

〔日付け〕 昭和参年拾二月二十六日

〔消印〕 長野伊那／3・12・27／后0―3



拝啓 昨日はお書面有難く拝見いたしました
お多忙中お迷惑をお掛けして誠に相済み
ませでした厚くお礼申し上げます

お内室様お病気の由冬寒の期一層の
お養生の程お祈り申し上げます 降
原先生も幸當年の割合に達者
で居られます 他事乍ら心安下さい

展覧會の儀は誠に盛文に出まされた
嬉しくありました 開期中福田父道
先生に一夕のお講話を願ひ會ひの
作品に就いてはふとしたお縁からして
太平洋の松村郎共先生小糸忠會
調音者三先生に批評を指すと
お願ひいたしました。

當地は少年は大変に暖で華々の
四十度位であります 雨も昨日三寸程
降つたおけて甚だ道もよく外の仕
事には以つて来いの由未だ年であ
りました

年末お多忙の節お養生を專一に
なさる様にお祈り申上ります
右にお礼と申上ります

昭和叁年拾二月廿六日

伊藤真之助

石井先生

仮番号「書10―235」

拝啓

当年は例年に比し余寒

甚だしくありますが皆様には

お変わりありませんかお

伺ひ申し上げます

お内室様のお病氣其の

後は如何かお伺ひ申します

原先生始めお心配の

事とは存じても就いお見舞も

申上げず失礼をして居

ました

原先生は昨冬より至極

壮健でゐられます

本年は珍らしく雪が

少けないので信州の冬

としては心淋びしく思はれ

ました

時節柄お体お自愛

專一になされませ

二月二十日 伊藤眞之助

石井先生

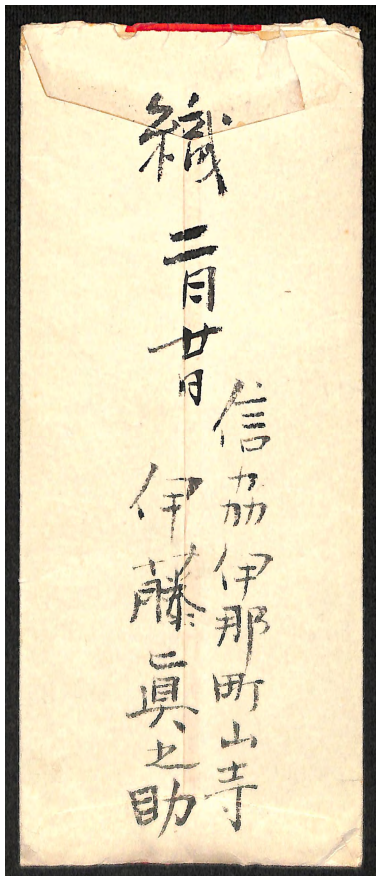
〔受信者〕 東京市外板橋町／中丸二六六／石井鶴三様

巻紙

〔発信者〕 信州伊那町山寺／伊藤眞之助

〔日付け〕 二月二十日

〔消印〕 長野伊那／4・2・21／前9―12



拜啓

當年は例年に比し余寒甚だしくあります所皆様に是れ変りもありませんかお伺ひ申し上げます
おの室林のお病氣其の台は如何かと伺ひ申します
原先生始めお心配の事と存してもお見舞も申上げず矢氣とし居ました
原先生昨冬より至極健康であります
本年は珍らしく雪が少りなれので信あめ冬としては心淋あしく思はれました
時節柄お躰を自愛專心になさませ

二月廿日 伊藤真之助

石井先生

當年は例年に比し余寒甚だしくあります所皆様に是れ変りもありませんかお伺ひ申し上げます

おの室林のお病氣其の台は如何かと伺ひ申します
原先生始めお心配の事と存してもお見舞も申上げず矢氣とし居ました
原先生昨冬より至極健康であります
本年は珍らしく雪が少りなれので信あめ冬としては心淋あしく思はれました
時節柄お躰を自愛專心になさませ

二月廿日 伊藤真之助

石井先生

仮番号「書10―233」 「書10―234」

謹啓

先頃中は色々

厚いお厄介に相

成り謹でお礼

申上げます

伊那は彼の頃に

比するはずと秋が

進んで来ました

先生の写生された

辺りは稲の穂が

美しく出揃い

色々の美しい色

になりました

二三日前に天滝の

河原へ出ました

桜の葉が二本計りカ

色附いて居ました

雑草（タデノ葉）も

色附いて美しい

色に変じて来まし

たお送りします

写真が出来て

送る様になって居

ます

巻紙

先生のお作下の

台の方をあんな風

にして置きましたが

如何ですか

石膏取りのつぎこみ

の方皆さん家へ

帰ってやられたので

写真は伊那町

の者だけしか今は

お目にかかれません

右より 塩川末夫

下島義一

石井菊衛

先生

柿ノ木 保

伊藤眞之助

本日は新聞で先生の

院展出品作

信濃男の写真

を嬉れしく拝見

いたしました

右御礼迄で草々

九月九日 眞之助

石井先生

〔受信者〕 東京市外／板橋町中丸二六六／石井鶴三様

〔発信者〕 信州伊那町山寺／伊藤眞之助

〔日付け〕 九月九日

〔消印〕 長野伊那／4・9・9／前9―12

東京市外
板橋町中丸二六六
石井鶴三様

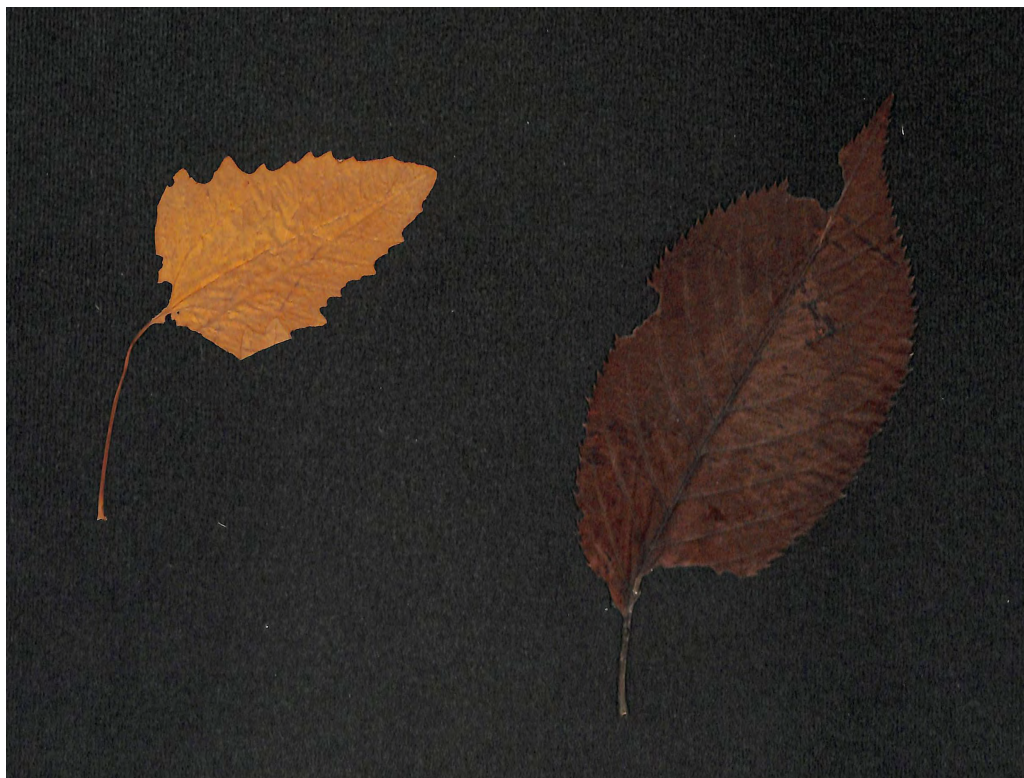
又
九月九日
信州伊那町山寺
伊藤眞之助

謹啓
先頃中は色々
厚にお厄介に相
成り謹でお礼
申上げます
伊那は彼の頃に
比りよとわつと秋が
進んで来ました
先生の宮生され
込りは稲の穂が
美しくしく出揃
色々の美しくしい色

先生の宮生され
込りは稲の穂が
美しくしく出揃
色々の美しくしい色
になりました
二三日前に天滝の
河原へ出ました
櫻の葉が二本汁
色附りて居ました
雑草(クダマ)も
色附り美しくしい
色に変わって来まし
たが色くりにま
宮に奥が出来て
送り称に百こ居
ます
先生のあ作下の

送し称に百こ居
 ます
 先生のお作下の
 台の方をあんな風
 にして置きましたか
 如何ですか
 石膏取りのつぎこみ
 の方皆さん家へ
 帰ってやられたので
 宮と泉は伊那町
 の者おけしかな
 が目にかかれません
 右より
 塩川末文
 下島義一
 石井菊衛
 先生
 柿木保
 伊原真之助

先生
 柿木保
 伊原真之助
 本日は新聞で先生の
 展覧出品作
 信濃男の宮と
 泉を嬉しく拝見
 いたしました
 右が礼と草
 九月九日 眞之助
 石井先生



仮番号「書10―51」

拝啓

暫くお無沙汰

おたしましたがお

変りはありません

かお伺ひ申上げます

愈自然は美

くしくなりました

思ふ様に仕事は

出来ません

私の幼い頃喜

こんで登ぼつた柿

の木になった粗

末な柿少しく

お送りおたしました

お笑納下さい

眞之助

石井先生

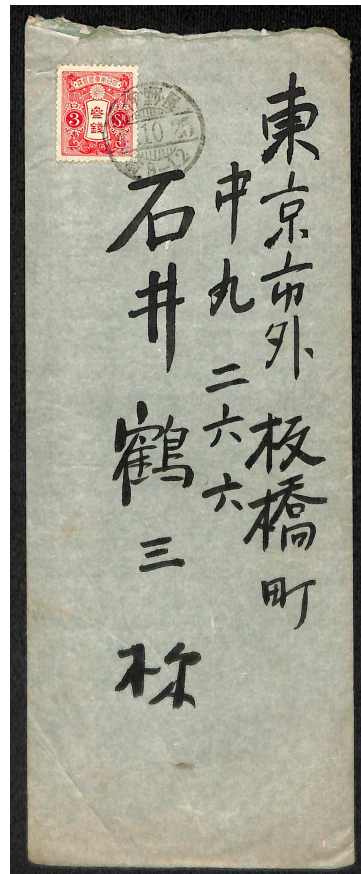
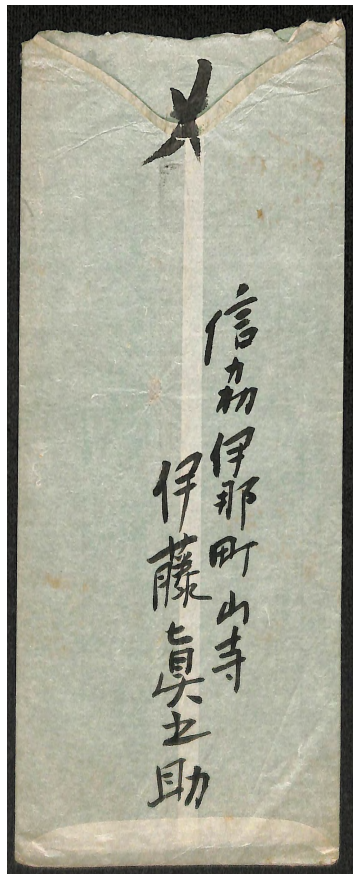
〔受信者〕 東京市外板橋町／中丸二六六／石井鶴三様

〔発信者〕 信州伊那町山寺／伊藤眞之助

〔日付け〕

〔消印〕 長野伊那／4・10・25／前9―12

巻紙



拝啓

暫くが無沙汰

ぬたしましたか

麦りけありません

かお伺ら申上げま

愈自然いけ美

ししなりません

鬼小掬に仕事

出来ません

私のいん頃 喜

こんが 登りつた 掬

の木にあり 瓦 掬

末な 掬

愈自然いけ美

ししなりません

鬼小掬に仕事

出来ません

私のいん頃 喜

こんが 登りつた 掬

の木にあり 瓦 掬

末な 掬 少し

お送りぬたしました

お笑 仰下さい

眞之助

石井生

仮番号「書10―231」「書10―232」

巻紙

会へこつそりと

三点出品見

事落選ひたし

ました未熟の

もので誠に申訳

けありません

未熟でも自分の

進歩を知りたい

様な気受験の

考へで出して見

たくなります

信州の最近は

誠に新鮮な

緑りになりました

右お礼迄で 草々

五月十五日 眞之助

石井先生

拝啓 其後は失

礼ぬたしましたお

壮健のお様子お

喜こび申上げます

この頃はお書面

恵まれ厚くお礼

申上げます

当年は是非拝

見に参りたいとは

存じて居ましたが

色々の都合で出

京出来兼ね

残念に思ひます

原校長は先頃

上京して先生に

もお目にかゝる予

定で出かけました

が私はまだ其の

結果を聞きません

(同じ学校に居ても

時間や校舎の都

合で逢はない日の方が多い位であります)

小生先頃春陽

〔受信者〕 東京市外板橋町／丸中二六六／石井鶴三様

〔発信者〕 信州伊那町狐島／伊藤眞之助

〔日付け〕 五月十五日

〔消印〕 5・5・15／前9―12

東京市外板橋町
丸中二六六
石井鶴三 様

織
五月十五日
信嘉伊那町狐島
伊藤真之助

拝啓 其後、以て
礼をたしませ、お
社健にお採りな
喜びを申上げま
この頃にお書面
裏まれ厚くお礼
申上げます

色々の都合で出
京出来兼ね
残念に思ひます
原校長に先頃
上京し、先生に
もお目にか、予
定で出かけました
が、私にまた、其の
結果を聞きませ
同に學校に倉庫
時間、校舎の考
合の途は、昨日の
方、おきり、位で、おきり

合(合)はた、日
方(方)の位(位)で(で)あ(あ)る(る)
小生先頃春陽
会(会)のこ(こ)つ(つ)そ(そ)り(り)と
三(三)真(真)出(出)品(品)見
事(事)落(落)選(選)ら(ら)た(た)し
ま(ま)し(し)た(た) 未(未)熟(熟)一(一)
もの(もの)で(で) 誠(誠)に(に)申(申)訳(訳)
け(け)あ(あ)り(り)ま(ま)せ(せ)ん
未(未)熟(熟)でも(でも)自(自)分(分)の
進(進)歩(歩)を(を)知(知)り(り)た(た)い
採(採)り(り)な(な)い(い) 受(受)験(験)の
考(考)へ(へ)て(て)出(出)し(し)て(て)見(見)

未(未)熟(熟)でも(でも)自(自)分(分)の
進(進)歩(歩)を(を)知(知)り(り)た(た)い
採(採)り(り)な(な)い(い) 受(受)験(験)の
考(考)へ(へ)て(て)出(出)し(し)て(て)見(見)
た(た)ら(ら)あ(あ)り(り)ま(ま)す(す)
信(信)務(務)の(の)最(最)近(近)の
誠(誠)に(に)新(新)鮮(鮮)に(に)
録(録)り(り)に(に)あ(あ)り(り)ま(ま)し(し)た(た)
右(右)に(に)礼(礼)と(と)申(申)す(す)
五(五)月(月)十(十)五(五)日(日) 仁(仁)奥(奥)之(之)助(助)
石(石)井(井)先(先)生(生)

仮番号「書10—236」

謹啓

本年は格別の

お暑さ皆様お

変りはありません

かお伺ひ申上げ

ます

今回はお多忙

中お厄介の

お願いお許るし

下さって厚くお

礼申上げます

日程の十一日—十

五日迄誠に好

都合であります

当地としては

本年も首の

製作がよろしい

と存じます

モデルに就いては

如何でせうか昨

年迄での女を

又やりたい気も

します

中年過ぎた

巻紙

男の首もよい

様に思はれます

如何でせう

お手数乍ら

お一報下されは

幸であります

右お願ひ迄で

眞之助

石井先生

〔受信者〕 東京市外板橋町／丸中二六六／石井鶴三様

〔発信者〕 長野県伊那町小学校内／伊藤眞之助

〔日付け〕 七月二十七日

〔消印〕 長野伊□／□・7・28／前9—12

東京市外板橋所
丸中 三六六
石井鶴三 様

長野縣伊那所小學校内
七月廿二日
伊原真之助

謹啓
本年ハ格別々
お目暮さ皆豫を
爰りはありません
か何伺申上げ
ます
今回ハお多忙
中ハ厄介の
お怒らお許し
下さる厚くお
礼申上げます
日程ハ十一日一十
五日

礼申上げます

日程々十日一十

五日迄減る好

都合であります

当地としてけ

本年も考へ

製作がよろしい

と存いたします

モデルに就いては

如何なせうか昨

年迄の女も

又やりたう気も

します

中年男も

男の首もよい

探り思ひます

又やりたう気も

します

中年男も

男の首もよい

探り思ひます

如何なせう

お手教へら

か一報下されば

幸いです

右が願ひです

石井先生

石井先生

仮番号「馬場37-81」

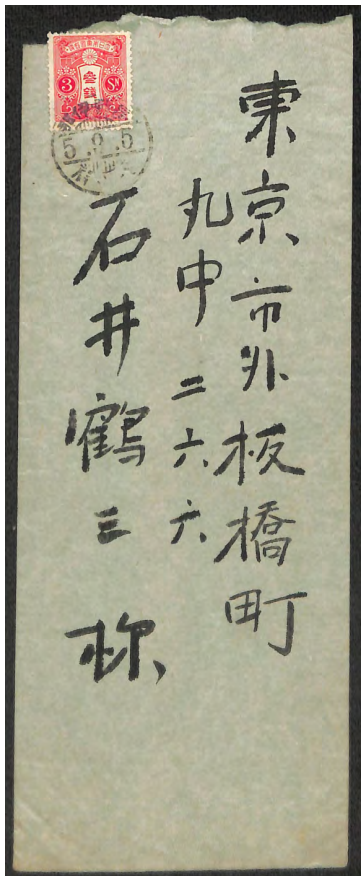
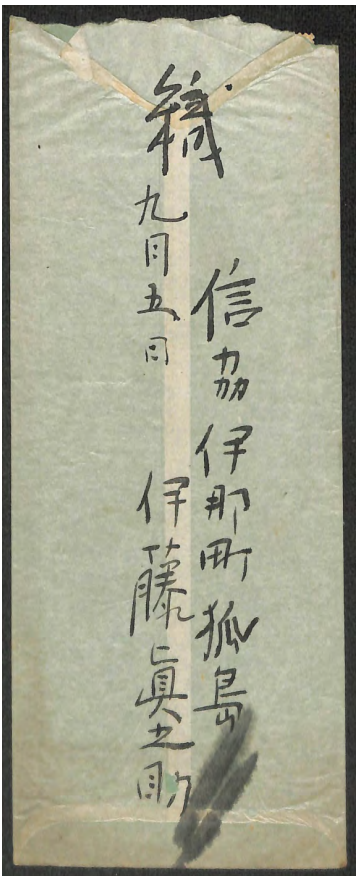
封筒のみ

〔受信者〕 東京市外板橋町／丸中二六六／石井鶴三様

〔発信者〕 信州伊那町狐島／伊藤眞之助

〔日付け〕 九月五日

〔消印〕 長野伊那／5・9・5／后□-□



仮番号「書10—227」

葉書

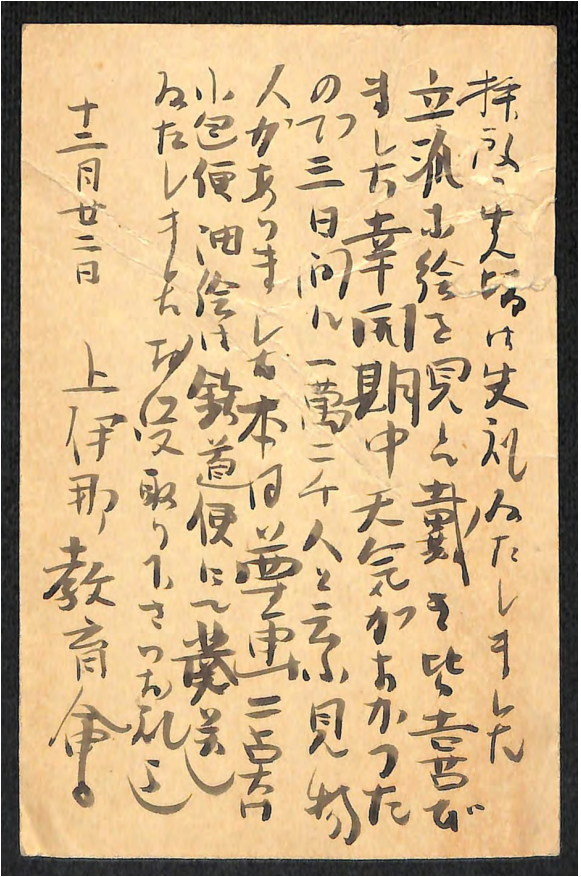
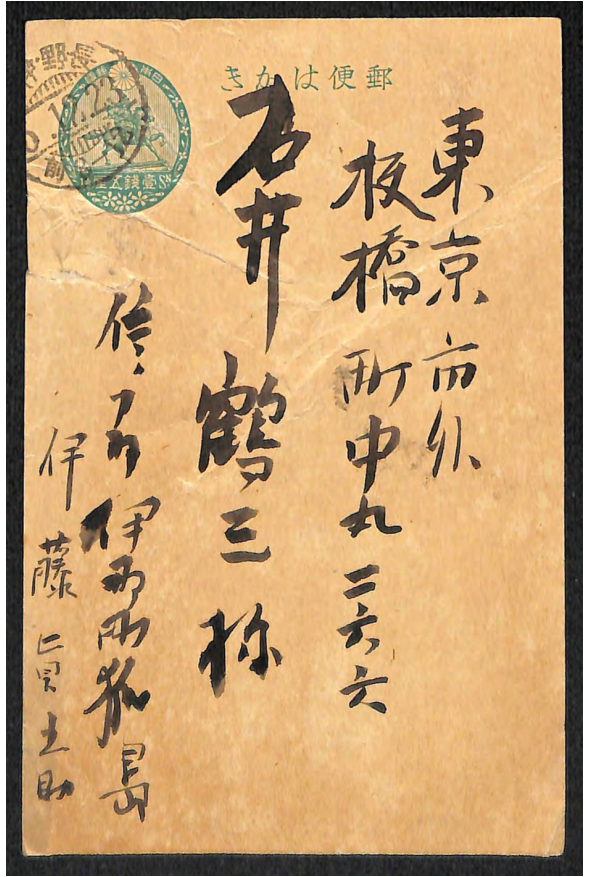
拝啓 先頃は失礼いたしました
立派な絵を見て戴き皆喜び
ました幸開期中天気がよかつた
ので三日間に一万二千人と云ふ見物
人がありました本日尊画二点は
小包便油絵は鉄道便にて発送
いたしましたお受取り下さいお礼迄
十二月二十二日 上伊那教育会

〔受信者〕 東京市外／板橋町中丸二六六／石井鶴三様

〔発信者〕 信州伊那町狐島／伊藤眞之助

〔日付け〕 十二月二十二日

〔消印〕 長野伊／□・12・23／前8—12



仮番号「書10―229」

拝啓

お書面有難く

拝見いたしました

大変お迷惑の

お願いお聞き下さって

厚くお礼申上げ

ます

本年は有志の

会合であります

から皆一生懸命

にやりたいと云って

居ますこれが

うまく展開して

行くことを願って

居ります

会員の諸君も

先生に無理の

お願いをして

実は心配も

して居ました

お許るし下さった

事を喜び

又発奮もし

て研究か出来

巻紙

る事と思ひます

会員に代つて

右お礼申上げ

ます

伊藤眞之助

石井先生

〔受信者〕 上田市南校内／彫塑講習会／石井鶴三様

〔発信者〕 伊那町小学校内／伊藤眞之助

〔日付け〕 八月十七日

〔消印〕 長野□□／6・8・17／后4―8

上田市南校内
用望講習会
石井鶴三様

八月十七日
伊那町小學校内
伊藤眞之助

拝啓
お書面有難く
拝見いたしました
大変お迷惑の
お願ひお聞き下さつて
下さるか礼申上げ
ます
本年は有丸の
会合であります
から皆一生懸命分
にやりたいと云つて
居ます これか
うまく展開して
行くことを願つて
居ります
会員の諸君も
先生に無理の

お願ひとして
実は心配も
して居ました
お許し下さい
事を喜ぶこと
又装奮も
ご研究の出ま
る事と思つて
会員に代つて
右を礼申上げ
ます

伊藤眞之助
石井先生

仮番号「書10—226」

拝啓

この頃中は甚だお暑い所お熱心のお指導に
あずかり厚くお礼申し上げます。

それに引きかへ講習生が余りよい勉強の出来
ないのは遺憾に思ひます殊に小生数日來の不
健康にて気力なく面目次第もありませんでした
出発の節は何にら^{ママ}お礼も出来ずかへつてお熱情
あるお言葉に接して有難く思ひました会員
諸君も一層精進勉強してこの道に目鼻
を着けてお礼の印に仕様●(一と)意気込んでくれて
嬉れしく思ひました

会の方は二三四とモデルに就いて勉強を続け
明日二十五日石膏どりにかゝる人もあります。大体を
終了する事にいたしました。

右お礼迄

草々

八月二十四日

伊藤眞之助

石井先生

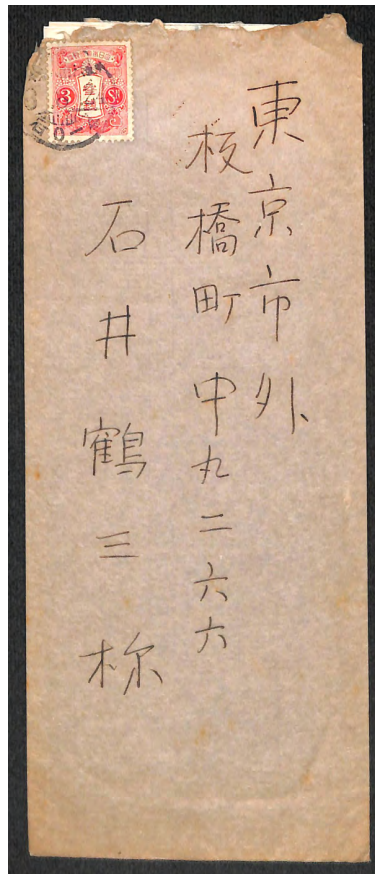
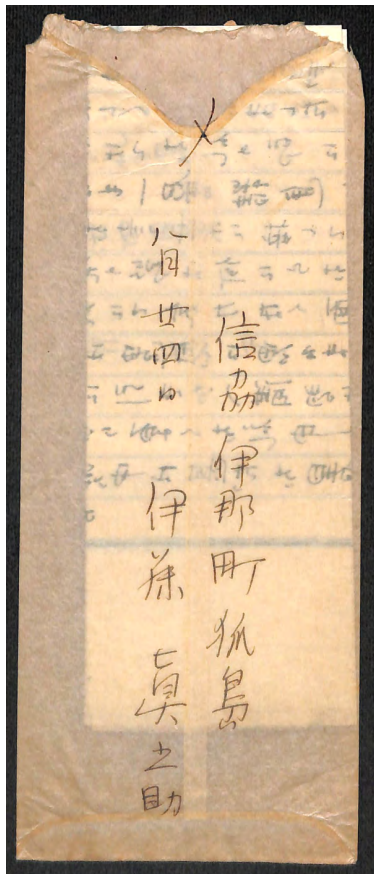
〔受信者〕 東京市外／板橋町中丸二六六／石井鶴三様

〔発信者〕 信州伊那町狐島／伊藤眞之助

〔日付け〕 八月二十四日

便箋

〔消印〕／6・8・24／后0—4



拝啓

この頃中は甚だお暑く所お熱心のお指導に
お力かり蒙るお礼申上ります。

それには引きかへ講習生が余り多いお強
なりのお遠慮感に思ひます。特に小生 数日未だ不

健康にて気力なく面目次第もありませぬ
お出荒り等は何れもお礼もお済みか(このお執

事)お言葉に接して有難く思ひました。今日
諸君も一層お精進(勉強)しこのお首に同自業

を著けてお礼の印に在候(お) 衷心入心く
懐れしく思ひました。

今お方は二三回とモテルに就いて勉強を
上伊那郡教育會

明日廿五日 石井 先生に
終る事、事いふたしやした。

お礼
草

八月廿四日
伊丹 睦良之助

石井 先生

仮番号「書4—90」

葉書

啓上 其の後は失礼いたしました
皆様お変わりありませんかお伺ひ

申上げます当地産樽ぬき

柿少量お送りいたします

お笑納下さい

信州伊那町彫塑会

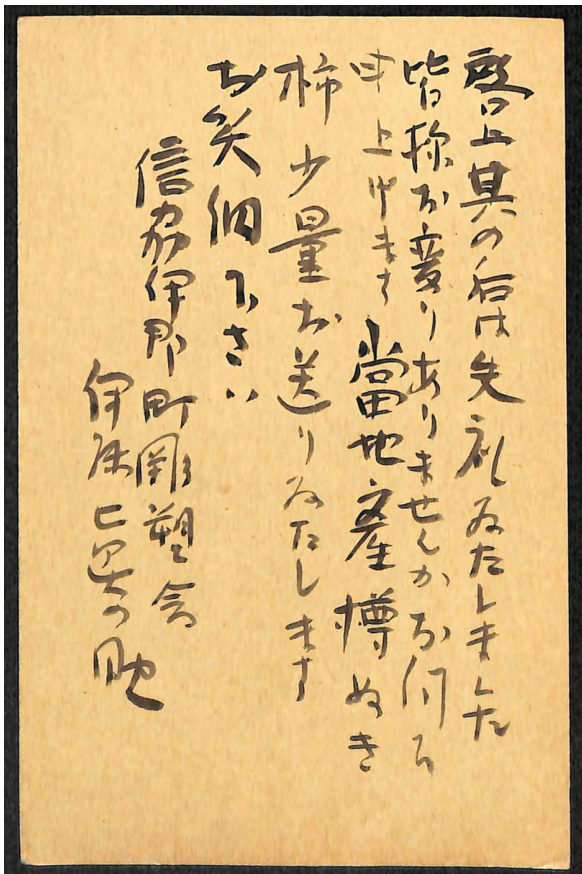
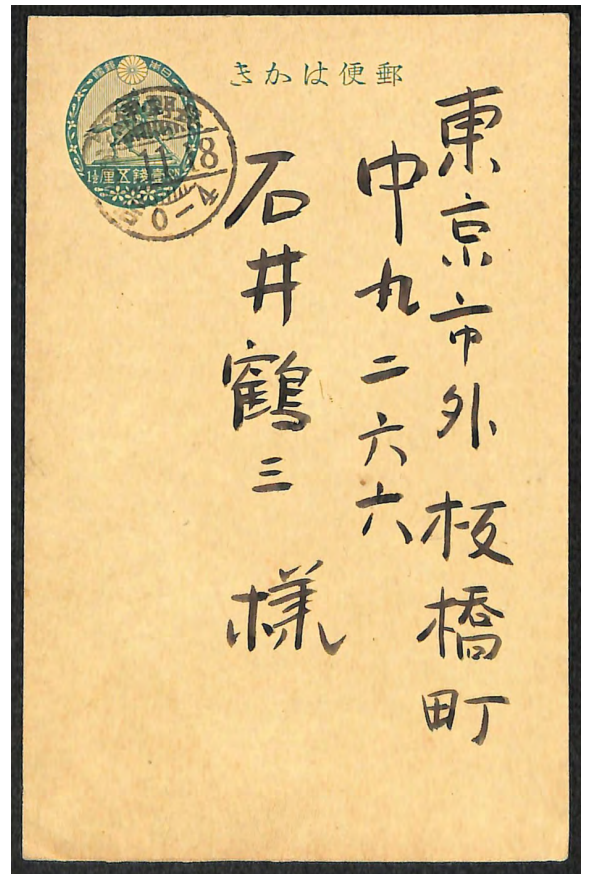
伊藤眞の助

〔受信者〕 東京市外板橋町／中丸二六六／石井鶴三様

〔発信者〕 信州伊那町彫塑会／伊藤眞の助

〔日付け〕

〔消印〕 長野伊那／6・11・18／后0—4



謹啓

大変に暮らしよい氣候に
相成りました皆様お変りは
ありませんかお伺ひ申上げ
ます

本夏は又甚だお迷惑
ではありますが是非お来
篤お指導をお願い申し
たいと皆申して居ます

伊那の彫塑の会も当年は
細々乍ら第五回目にな
ります会員も定まって来ました
貳拾名を幾人か越る様
になります昨年大失敗

を致しましたので当年は
諸君が張ってやらうと今から
意気込んで居て呉れ
ます

期日は一週間に延ばしたい
と申して居ます八月の始
めから二十日頃迄の間で先生
のお都合のよい時第二日目頃
から五日間位お指導を
願ひたいと思つて居ます

巻紙

誠に恐縮の願ひでは

ありますが是非お都合

をお願い申しますお多忙

中お迷惑乍ら期日は

先の事で決し兼ねると存じ

ますか如何かお一報お

願ひ申します

右用件のみ 草々

五月二十四日 伊藤眞之助

石井先生

追 今迄で伊那でお厄介になり

ました塩川末夫君は今春

佐久の方へ転任しました是非

上田の方でお厄介になりたいと

申して居ます宜ろしく


お願い申します。

〔受信者〕 東京市外板橋町／中丸二六六／石井鶴三様

〔発信者〕 信州伊那町狐島／伊藤眞之助

〔日付け〕 五月二十四日

〔消印〕 長野伊那／7・5・24／前8―12


 東京市外板橋町
 中丸二六六
 石井鶴三様

✂
 信カ功 伊那町狐島
 五月廿四日
 伊藤真之助

謹啓
 大變に暮らしたる気候は
 相成りまじき皆杯が変りは
 ありませかお伺ひ申上げ
 ます
 本頁は又甚だお迷惑
 ではありますが是非お末
 筆お指導を願ひ申し
 たいと皆申して居ます
 伊那の彫塑の會も当年は
 細々乍ら五回目にな
 ります會費定まりました
 員名と幾人が裁り採り
 なります 昨年大失敗
 を致し

細々乍ら五回目には
川ます會議定も兼ました
眞拾名を幾人が裁き採に
なりませう 昨年大失敗
を致しましたので当年は
諸君が張つてやらうと今から
立意気込んで居る呉水
ます

期日は一週間に延ばしたい
と申して居ます 八月の始
めから廿日頃迄の間は先生
のお都合のよい時 二日目頃
から五日間位は指導を
願いたいと思つて居ます
誠に恐縮のお察るでは
あります 目黒が都合
をお察る申します 勿忙
中にお迷惑なう 期日は
先の事や決し兼ねるご存心

と申察る申します 勿忙
中にお迷惑なう 期日は
先の事や決し兼ねるご存心
ますか お指導を察る出来
ますか 如何か 一報を
察る申します

右用件のみ 草

伊藤真之助

石井先生

追今迄で伊那のお厄介になり
ました 塩川未夫君は今春
佐父の所へ轉任しました 目黒
上田の方でお厄介に成りました
申して居ます 宜しく
お察る申します

拝啓

愈々心持ちの悪い梅雨期を迎えました皆様お変わりはありませんか
お伺ひ申上げます

目下当校は農繁休業であります斯の休みを利用して上京

先生のお拝眉を得て彫塑講習の件に就き打合せをお願ひしたいと存
じて居ました処本月始めより妻が病床にあり拾九日に郷里下伊那

の実母が死去致しかたゞ繁忙の中に時を過ごし就い其の

期を得ませなんだので失礼乍ら書面にてお願ひ申上げます

当方彫塑講習は八月一日頃より二十日頃迄の中先生の都合の

着き易い時期を選んで一週間開催致したいと思ひます

甚だ勝手乍ら先生のお都合のよい頃を決定至急お知らせ

下され度くお願ひ申上げます其の他にも夏期講習会を開か

れる都合上期日だけは成可く早く決定したいと思ひます

お多忙中お迷惑乍らお願ひ申上げます

当方としては三日から一週間頃が最も都合が宜ろしくあります

六月二十八日

伊藤眞之助

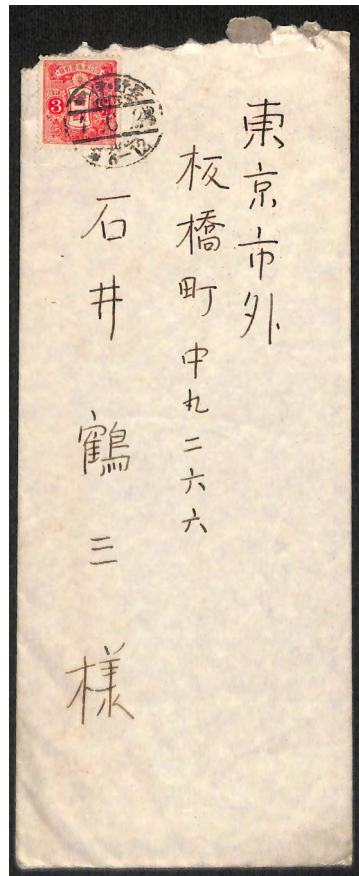
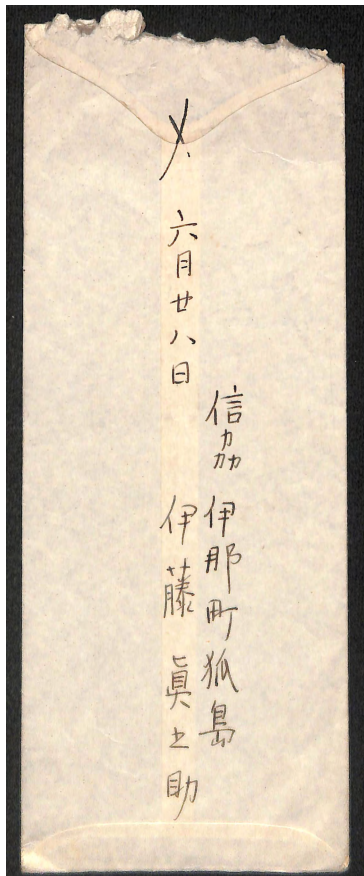
石井先生

〔受信者〕 東京市外／板橋町中丸二六六／石井鶴三様

〔発信者〕 信州伊那町狐島／伊藤眞之助

〔日付け〕 六月二十八日

〔消印〕 長野伊那／7・6・28／□8-12



仮番号「書7-127」

便箋

前略 お書面有難く拝見お礼申し上げます
日程に就きお迷惑乍ら今一度お考へ願ひ度く願ひ申し
ます

十三日後は五日の中教育会の講習仏教が三日かち合ひ盆を
ひかへて居るので出席不能の者が出来ます
若し先生のお都合ができましたなら一日から五日間お来伊を
願ひ申したくあります
お都合が出来なくば十三日に始めて先生に十四日からお来伊を願
ひしたいと思います
右お手数乍らお返事下され度願ひ申上げます

七月二日

伊藤眞の助

石井先生

追愚妻は二十九日に子宮外妊娠にて切開手術を行ひ十五日頃迄は小生
左記に居住します

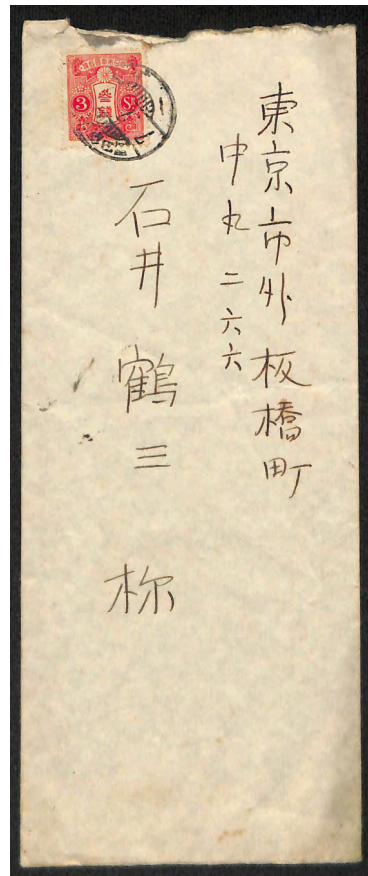
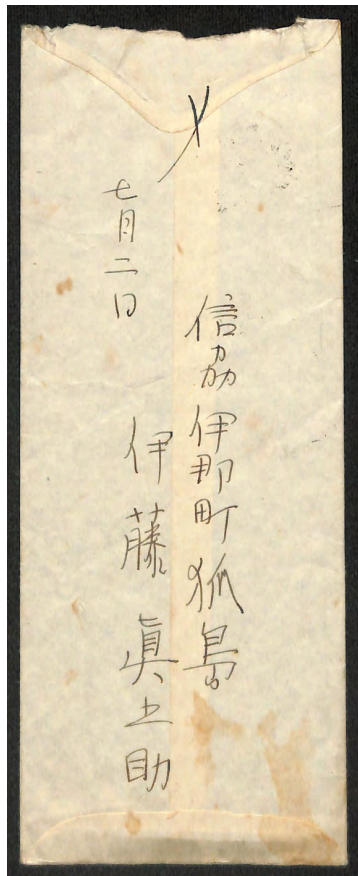
伊那町桜町内海医院第五病室

〔受信者〕 東京市外板橋町／中丸二六六／石井鶴三様

〔発信者〕 信州伊那町狐島／伊藤眞之助

〔日付け〕 七月二日

〔消印〕 飯田間／7・7・／



公明堂におき面有難く打見ぬ左し宜くお礼申上げます
日定に就きお迷惑自ら今一度の考へ給へ度くお察申し
ます

十三日後け五日の中教習會の諸君御教が三日かき合ひ盆を
るかへ二倍のり出席不能の者かおます

若し先生りお都合か出来なから一日か五日間お来伊さ
お察申しなごあります

お都合か出来なれば十三日に始め先生は十四日かきお来伊と御
めしなご男をます

右不可致自らお返事なされ度か御申上げます

七月二日
石井り先生
伊藤と呉り助

直屬委員は右に之を官外振振し御開手御と行なすまは時日小生左に居任ます
伊藤町機所 内海医院 伊藤病室

仮番号「馬場37-84」

拝啓お多忙中甚だお手数ではありますが、
講習会の日程至急お知らせ下され度く
願ひ申します。

一、八月一日より五日迄 当方としてはこの方好都合

一、八月拾四日より十八日迄

右至急お知らせ下され度く願ひ申ます

七月九日

伊藤眞之助

石井先生

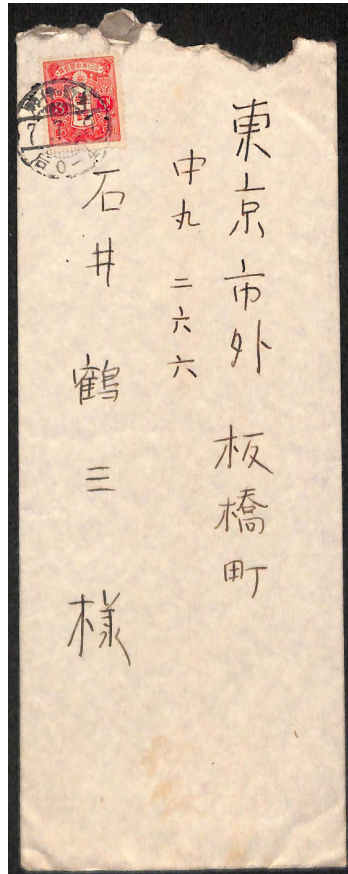
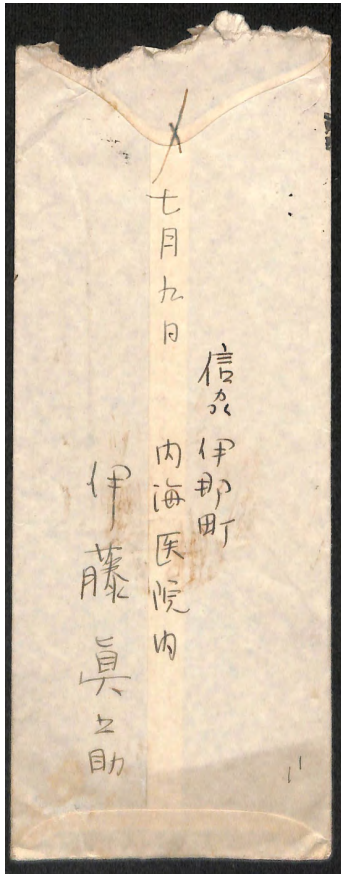
〔受信者〕 東京市外板橋町／中丸二六六／石井鶴三様

〔発信者〕 信州伊那町／内海医院内／伊藤眞之助

〔日付け〕 七月九日

〔消印〕 長野伊那／7・7・9／后0-4

便箋



162
拝啓 申す中 甚かお手数敷きはありませうか 山方那
講習会の日定 至急お知らせ 下され度く切願申す
ます

一、八月一日より 五日迄

当方としてはこの方が都合

一、八月 拾四日より 十八日迄

右至急お知らせ下され度く切願申す

七月九日

伊藤 眞士郎

石井先生

前略 近年珍らしい暑さで有りますがお変わりありませんかお伺ひ申上げます。

便箋

彫塑の会に關しまして色々とお迷惑のお願ひ申し上げて誠に済みませんでした

本年は随分骨を折って教育会の方からも補助金50円を受けれる

様になり会員もあり安心あたし会員諸君の希望通りに

先生の方へお願ひ致し先生からはお多忙中まげてのお快

諾迄で得て居去る二十五日に会員の集会を致しました所

講習会（検定試験を受ける者のために県の主催で開かれる学力補習〔助〕

講習会）の方へ松沢、白鳥、下平、牛越君等が行くので

駄目其の他村部の先生の中には四月来給料も渡らず

町に近い美篤の本田君とか東春近の武井、池田君辺り

でも六月来未払と云ふ様な情態で其の他欠食教員が

出来ると云ふ様な事情で一吋伊那町迄でも電車では

来られないと云ふ様な諸君が出来て来て一時会費等も

他から借り入れてもそれが将来迄でも響く様では気の毒な

ので本年は任意に方法を考へて研究すると云ふ事にして

折角お願ひ出来た先生には申訳ありませんが本年は

講習会を見合せる事の方が宜ろしいと存じ又先生に

来て戴くには少くとも拾八九名が本気で出来る人を欲

しいので。こんな様な事情で本年は中止の止むなきに至り

ました悪からずお了承下されたくお願ひ申します。

伊那の一般は不況で人心の動乱はげしく時々借金不払

無償中止小作料延期等を題目とした農民大会

中小工商業者大会と云ふ様な事があり其の折り／＼に
検束者を出すと云ふ様な風になりました。

村長等が国税県税は滞納してもよいから村税だけを出納
してくれ等公然云つて居る村もある

次に先便にて拝見致しました奥様大病手術なされし由

其の後の様子如何かお伺ひ申し上げます大暑の節とて

おこまりの事と思ひます 降つて小生方は手

術后二十日目で退院経過頗る宜ろしく目下は半分位

は起きて居れます他事乍らお安心下さい

七月三十日

伊藤眞之助

石井 先生

〔受信者〕 東京市外板橋町／中丸二六六／石井鶴三様

〔発信者〕 信州伊那町狐島／伊藤眞之助

〔日付け〕 七月三十日

〔消印〕 長野伊那／7・7・31／后□—□

七月廿日
信カ
伊那町 狐島
伊藤 貞六
目カ

東京市外 板橋町
中丸 二六六
石井 鶴三 様

前日迄年終らしい日若さで有りませぬかお返り申上げます、
剛毅の会に参りました色々お話を承り申上げたい所
本年は随分骨を折る教育会から補助金を受けられ
先生の方へお話を致し、先生の方はお尋ね中まづこのお使
諾で得る居去り廿五日に会員の集會と致しました
諸習會(検定試験を受け、若くは旧来の主権の聞かれる補助
諸習會)の方へ松沢、白鳥、下平、井掛、君等が行くので
駄目其の他、村部、先生の中には四月末給札も渡す
町に近い美笹の本田君とか東春辺の武井、池田君辺り
でも六月末未拂と云ふ小株、在情態で甘分他欠食、教員か
出まると云ふ小株、在事情で一丁伊那町でも電車では

末られたい二ふ椽な諸君が出来て来て一時会費等も
他から借り入れてもそをが終末までお察しく椽には気の毒
の本年け任竟に方法と考へて研究すべしと云ふ事にして
折角の終り出来た先生にけ申譯けありませしが本年け
諸君会を見合せの事の方か宜ろいと存い又先生に
来て戴くにけかけなくとも持八九名が本気で出来ると欲
しいのでこんな様な事情の本年け中止の止まふまに至り
ました要か少くあつた下で水度くお察申します。
伊那の一般は不況で人心の動揺はゆけしく時々借金不拂
無償中止小作料延期等を題目とした農民大会
中小工商業者大会と云ふ椽な事があり其の折りに
捜索者を出すと云ふ椽な事がありました。
村長等が國税果税は滞納してもいから村税をけてお山物
してく九等公然云云居り村まよ

次に先便に押見致しした奥椽大病手術なされし由
其の後の椽子如何か如何の申し上申ます大星君の節とて
おこまりの事と思ひます
御后二十日目の良辰(経島)願、宜ろしく目下は半分位
は延まて居りました他事知らぬ安心なさい

七月世に

伊 藤 睦 之 助

石井 先生